



(み) 未来を見つめ

学校報

(さ) 支え合い、磨き合い

(と) 共に高まる「美里っ子」

みさと

＜学校教育目標＞

夢をもち、心豊かに、ねばり強くがんばる子ども

男鹿市立美里小学校

R元. 9. 30 No. 6

地域での学びが充実しています！

朝夕めっきり涼しくなり、金色に染まった田んぼでは稲刈りが始まっています。いよいよ実りの秋です。学校でも大きな実りを迎えるべく、日々、子どもたちは学習や係活動、行事などに一生懸命取り組んでいます。

学校報「みさと」5月号で紹介したとおり、本校では地域と結びついた様々な活動を行っています。“ふるさと男鹿”の自然に学んだり、地域の方々とふれ合ったりしている様子を紹介します。



◎8月29日(木) 6年生 ジオパーク学習

学習センターでジオパークの意味や男鹿の大地の歴史を学びました。また実験を通して、寒風山に見られる「鬼の隠れ里」と「溶岩が流れた跡」の成り立ちを説明していただきました。その後、実際に安田海岸に行き、50万年前から8万年前の地層を、800メートルの距離を歩きながら、自分の目で確認しました。地層に含まれる堆積物から、その地層のあった場所、その当時の気候などについて学びました。自分たちが住む男鹿の大地が、とても貴重なものであることに気付くことができました。6年生はこの後、脇本城跡にも見学に行きます。



◎9月6日(金) 4年生 和幸苑訪問

4年生が総合的な学習の時間の一環として、和幸苑を訪問しました。自己紹介の後、リコーダーの演奏やダンス、歌を披露しました。「よっちゃれ」を踊った際には施設の方も一緒に踊ってください、大いに盛り上がりました。また「ふるさと」を歌ったときには、多くの方が一緒に口ずさんでくださいました。「よく来てくれた」「楽しかった」という言葉もいただき、子どもたちは誰かに喜んでいただくことの嬉しさを実感できた貴重な体験となりました。



◎9月12日(木) 3年生 梨の収穫

「男鹿のなしはかせになろう」の学習として5月の受粉、7月の摘果・袋掛けに続いて、待望の収穫を行いました。自分たちが世話をしてきた梨の木がたくさんの実を付けているのを見て、子どもたちは大きな歓声を上げました。みんなで一つ一つ丁寧に梨を収穫しました。その数は何とおよそ450個でした。その後、収穫した梨をごちそうになりましたが、自分たちで世話をした梨の味は格別でした。藤原農園の皆さん、地域おこし協力隊の皆さん、1年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

がんばった陸上大会！

9月13日、夏の日差しを思わせる快晴の下、男鹿市小学校陸上大会が行われました。5・6年生の美里っ子41名は、100m走と持久走、そして選手種目に挑戦しましたが、どの児童も最後まで一生懸命にがんばりました。朝は緊張した顔が多かったのですが、競技が終了した昼食の時は、いつもの表情に戻っていました。（選手種目の入賞者を下の「美里っ子の活躍」に掲載しています）



※ 美里っ子の活躍

◇第4回男鹿・潟上・南秋小学生バレーボール交流大会
準優勝（北陽バレーボールスポーツ少年団）

◇第8回ハタハタカップバレーボール交流大会
2部 第1位（北陽バレーボールスポーツ少年団）



◇第27回男鹿市小・中学生相撲大会

男子団体 優勝

男子個人戦 3・4年生の部 優勝

準優勝

5年生の部 優勝

6年生の部 優勝

女子個人戦 1・2年生の部 優勝

5年生の部 優勝



◇第47回全県選抜加藤杯争奪柔道大会
スポ少の部 第3位

（加藤道場）



◇令和元年度男鹿市陸上大会（選手種目）

6年 男子ソフトボール投げ 第2位

女子100m走 第1位

走り幅跳び 第1位

5年 男子ソフトボール投げ 第3位

100m走 第2位

女子ソフトボール投げ 第2位



10月の主な行事予定

1日（火）	教育委員会指導主事計画訪問	16日（火）	校内マラソン大会予備日
4日（金）	なべっこ遠足（5校時限）	18日（金）	読み聞かせ（高学年）
8日（火）	校内マラソン大会 （みんなの登校日）	21日（月）	職員会議（5校時限）
9日（水）	4年校外学習	22日（火）	即位礼正殿の儀（祝日）
10日（木）	すくすく校外学習	23日（水）	小中連携授業研究会（4校時限）
11日（金）	前期終業式		小中合同あいさつ運動（～25日）
15日（火）	後期始業式	28日（月）	委員会活動
	脊柱側湾検査（5年）	30日（水）	美里っ子フェスティバル予行練習

校長室の独り言

本校では毎日、給食終了後に全員で清掃を行っています。子どもたちは本当に一生懸命取り組んでいます。水拭きも毎日行っており、隅々まできれいにしようという思いが伝わってきます。中には笑顔で、競い合うように“雑巾掛け”をしている場面も見られます。どちらかといえば敬遠されがちな水拭きですが、ひたむきに取り組めることが素晴らしいと思います。かつて勤務した学校で大清掃の後、ある先生が一人の子どもに「どこが一番きれいになりましたか？」と尋ねたところ、その子は「心です！」と答えました。けだし名言！歴史ある校舎とともに、美里っ子の心が磨かれているんですね！！

